

Information

開成町学校・地域安全推進委員会



子どもたちへの安全確保に向けて、日頃から、ご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症防止のため、2年間開催しなかった学校・地域安全推進委員会ですが、令和4年5月25日に開催いたしました。関係諸団体より26名の方の参加がありました。



今回は、当日の会議の概要と令和3年度のまとめを別紙のInformationとして作成しましたので、併せてご覧ください。

教育長あいさつ

様々な制限がかなり緩和されていますが、まだまだ油断ならない状況です。関係者の皆さまが、久しぶりに一堂に介して本会を開催できることをうれしく思っています。町内の子どもたちが安全に登下校できているのは、皆さま方の日々の見守り活動のおかげです。ありがとうございます。

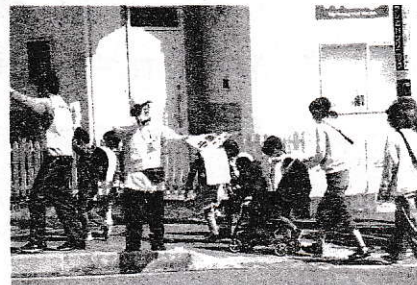
本会は、平成17年に発足しています。振り返ってみますと、当時、幼児児童の痛ましい事件が頻発しており、近隣の町でも悲惨な事件が発生し、交通事故が多発していたという時代背景がありました。開成町では、なんとか子どもたちを守らなくてはならないということで、様々な関係者の協力のもと本会を発足できたという歴史があります。本日は情報交換を行うことで、いっそう安全で安心な環境づくり、顔の見える共同体制をつくっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

令和4年度開成町学校・地域安全推進委員会の取組について

令和4年度のテーマ

「地域の特性を生かし、協働して取り組む学校地域安全」

—— 子どもが安心できる環境づくり ——



令和4年度の活動目標ですが、上記としました。昨年の千葉県の上記に見られるように、いつ、どこでも事故が起きてしまうことが考えられます。自分の身は自分で守るという意識を高めるとともに、開成町の危険な場所を知るとも危険から身を守る前提になるかと思えます。そして、登校指導や下校指導の取組を地域や関係諸機関の皆さまがまさに協働して取り組むことが重要だと考え、本テーマを設定しました。

登校指導の時間等は、すでに皆さまに周知を凶ったところですが、①交通安全指導 ②防犯運動 ③あいさつ運動という3つの観点から取り組んでいます。交通安全指導はもとより、地域とのつながりは、あいさつがとても大切です。

朝、子どもたちは元気よくあいさつをし、地域の方が笑顔で対応してくださっている光景を見るのが数多くあります。子どもたちは安心して学校生活のスタートができる源となるのではないかと思います。

今年度もぜひ温かい登校指導をよろしくお願いいたします。

現在、438軒！



「子ども110番のいえ」にご協力
よろしくお願いいたします。

子どもが、危険を感じて助けを求めてきたときは

- ★ すばやく保護
- ★ 必要に応じて110番
- ★ 園・学校または保護者に連絡
- ★ 警察、教職員、保護者が迎えに来るまで預かる

▼ 開成町学校・地域安全推進委員会事務局から

【インフォメーションの配布について】

インフォメーションにつきましては、学校・地域安全推進委員会が終了してから、各自治会等から枚数を申請いただいた数に応じて推進委員の皆様や自治会長様に配っていただいたという経緯があります。

これからは、配布の手間を省くとともに、それらの情報をいつでもすぐに見ることができるよう町ホームページに掲載しようと考えています。

なお、今まで通り紙ベースで配布してほしいという要望にはお応えしたいと思っていますので、その場合は、次回推進委員会の際にお知らせさせていただきますようお願いいたします。

情報の提供

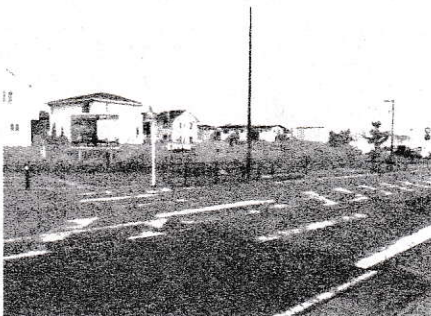


開成町みなみ地区内の横断歩道が7月19日～29日に引き直されました。

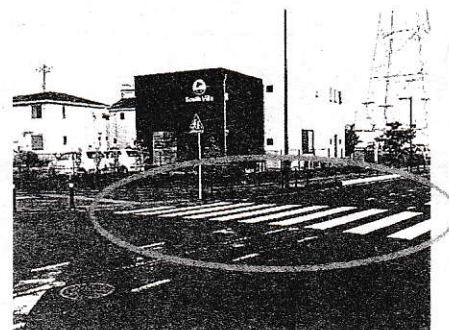
5/25のinformationでは、小学校から危険箇所の要望があったことをお知らせしましたが、これにより、走行中の車が横断歩道をはっきり視認できるようになり、園児や小学生が横断するときの安全性が高まりました。

【どんぐり会館前横断歩道】

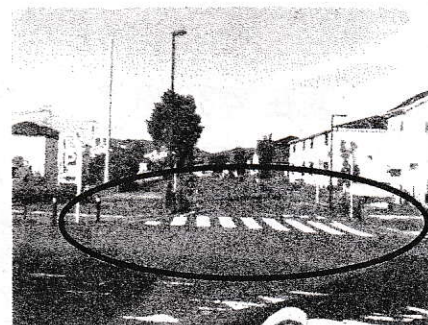
引き直し前



引き直し後



【コンビニエンスストア付近の横断歩道】



各団体から共有すべき情報 2 延沢派出所警察官



声掛け事案が多いという印象があります。4月に女子中学生二人を2〜3時間わたって自転車に乗った男が追いかけてまわし、ずっとついてくるということで、家に帰りたくても、男についてこられるという状況でした。中学生が犯人の写真を撮っていました。確認していたところ派出所前を通ったので、捕まえたということがありました。声掛けの対応を強化し、管内の事件を未然に防ぎたいと思っています。

各団体から共有すべき情報 3 少年補導員連絡会

コロナの影響でパトロールなどの活動ができませんでした。年に2回、少年補導員と吉田島高校の草花部が開成駅前の花壇で花の植え替え作業を行っています。草花部のメンバーが少なくなっていますが、地域交流と駅前の美化を目的に行っています。6月には、あじさい祭りのパトロールを予定しています。

6/25 開成駅前で開催!



※提供「タウンニュース」6/25版

参加されたみなさんからの質問等

Q 紫水大橋の前の交差点を利用する子どもたちが多いのですが、歩道橋はつけることができますか。

A 歩道橋はつかないかと話をすることがありますが、反対に歩道橋があることによる危険等(※)が高まることがあります。費用の面も含め、今あまりつくらないという傾向にあります。

※高齢者やベビーカー、障害者などにとって、利用が困難だったり、歩道橋があることでスペースが大幅に占領されたり、自転車が利用できないという理由が主だったものです。

事務局より 通学路交通安全プログラムについて

- 令和4年度の計画
- ① 小学校通学路の交通安全上の危険箇所に限らず、子どもたちが通る町内の道路における交通安全上、防犯上、防災上の危険箇所をP T Aの協力を得て、各学校から収集し担当者会議を開催します。【8/5】
 - ② 現地確認をした後、特に危険だと判断した箇所を合同点検会議にかけます。【9/13】
 - ③ 合同点検会議では、対策について話し合います。
 - ④ 結果については、次回の学校地域安全推進委員会(2/7)で報告します。



詳細については、別紙5/25版のインフォメーション参照



その他

○通学路については、法律で決まっています。小学校は通学路ですが、中学校は通学路でなく、通学路に推奨された道なので承知ください。

Q通学路以外にも、用水路だとか川や建築現場とかトラックの交通量が多いとか、通学路点検以外の危険場所を洗い出すことはありますか。

A 自治会長です。各自治会で要望をあげる機会があります。子どもが歩きにくかったり、飛び出しの危険があるときなどの問題が町に上がると、「子ども飛び出し注意」などの看板がつけられたりします。対処はしているはずですが。

意見 かつて、横断歩道がないとおかしいと話をしたときに、管轄が違う等言われたことがありました。子どもの安全を考えるのがこの会なので、問題があったら検討を重ねることが大切です。身の回りの安全について、あきらめずに訴えていきたいと思っています。

※推進委員長は開成小学校長、副委員長は文命中学校長が務めました。

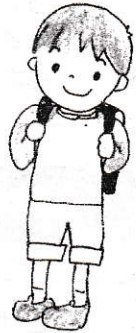
幼稚園、小学校、中学校の取組について

【開成幼稚園】

防犯については、日々の生活の中で「いかのおすし」の指導を重ねています。不審者侵入時の避難訓練は、警察に協力を求め、職員の不審者に対応方法を指導していただく予定です。地震の避難訓練では、消防署と連携を取り、実際に子どもを避難させている場面を見てもらいます。職員の研修は、心肺蘇生法や消火研修を行い、子どもが安全に暮らせるよう計画を立てています。道路横断時の約束①わたしは②かならず③とまりますの3本指の約束の徹底をします。

【開成小学校】

毎月、月の初めにそれぞれの担当が施設の安全点検をしています。防災防犯訓練は、火災・地震・不審者について行い、2月には、予告なしの地震の避難訓練をしています。6月には引き渡し訓練を行います。4月の最初の段階で地区別下校を行い、何かあったときに児童が集団で帰れることができるよう指導しています。



【開成南小学校】

松田警察と連携しながら、1年生は4月の最初に2年生以上は6月上旬に交通安全教室を行います。4年生については、自転車運転免許講習で、自転車の安全な乗り方を一人ひとり確認しながら免許を取得する取組を行っています。新しい家が建つことが多いので、家から安全に通学路に行くための確認を行っています。子どもたちから危険箇所を聞いて確認する作業を行っていきます。

【文命中学校】

大きなイベントとして、コロナ禍でできなかった各自治体との連携をし、9月4日に予定している開成町防災訓練で、防災の知識や避難を自治会長から教えていただくことを予定しています。午後には、引き渡し訓練も予定しています。



また、教職員の消火器の使用方法などを確認し、防災意識を高めようと考えています。

参加されたみなさんからの意見・質疑応答

Q 通学路の点検という視点で、開成町の塀の点検は終わっていますか。

A すでに防災安全課が中心になり、危険なブロック塀の点検は実施しました。町では生垣に直す場合には、塀を直すための助成金を出すようにしました。あくまで、個人の塀のため、町では取り壊すことができません。

A 幼児目線から見ると、危険なところはあります。でも、強制的に直すわけにはいきません。生垣にするための補助金は出しますが、町ではお勧めはしますが、命ずることはできません。お勧めの段階であることで理解をお願いしたいと思います。

Q 榎本の子どもが登校時に通っている JA 前の横断歩道ですが、カーブしているため見通しが良くありません。帰りは通ってないようです。朝も帰りと同じように広い道をとることはできないのでしょうか。

A 榎本の自治会長ですが、承知しています。以前調査があり、開成小と話し合った結果、どちらでもよいということになりました。そのような回答を町からもいただきました。

各団体から共有すべき情報 1 松田署生活安全課スクールサポーター



子どもが重大事件に発展する恐れのある「付きまとい事案」「不審者がうろついている事案」「わいせつ事案」等を前兆事案として扱っています。時間帯は、午後2時から夕方5時までの下校時間帯に発生が多くなっています。県警では、地域の人に「できることを・できる人が・できるところで」無理のないようをお願いをしています。犬の散歩等も、子どもの登下校時間帯に合わせて見守りができれば、事前防止に役立ちます。また、松田署ホームページにも様々な情報がありますのでぜひ活用してください。